

「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

- 1 本大会では、各セット(第3セットを含む)において、リードするチームが13点に達したとき、30秒間の「給水のためのタイムアウト」が自動的に適応される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時する。ハンドシグナルは示さない。
- 2 この「給水のためのタイムアウト」は給水を目的とするものであり、その間、選手はウォームアップエリア(付近)で給水を行う。また、チームスタッフはベンチに座っているものとする。(給水を行うか否かの判断は、選手本人の意志による。給水を行わなくても同エリア内に止まること。控えの選手も同様である。)
- 3 第3セットは、13点でチェンジコートを行い、その後「給水のためのタイムアウト」となる。その際、主審側を通してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。
- 4 正規の中断の要求やリベロプレイメントよりも「給水のためのタイムアウト」を優先する。正規の中断の要求や、リベロプレイメントを行う場合は、「給水のためのタイムアウト」の後にその手続きをする。

※「給水のためのタイムアウト」は給水及び汗拭きを目的としているので、中断中は次の点に注意すること。

【プレーヤー】

ウォームアップエリアにおいて給水することができる。モップをかけるためにコートへ入ることは許されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを通して移動する。

【チームスタッフ】

ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことはできない。ただし、マネージャーは給水などの補充のため、ウォームアップエリアに行くことは認められるが、監督・コーチからの戦術的な伝言等をしてはならない。

※「給水のためのタイムアウト」後、選手がコートインしたら、通常のタイムアウトの取り扱いと同様にする。